

# 「アンデス音楽コンサート」



演奏：グルーポ・シンコパイソ

「コンドルは飛んでいく」「花まつり」でお馴染みのアンデス音楽は、じっと聞いているだけではなく、一緒になって楽しめる音楽です。手拍子など会場一体となって、楽しくお過ごしく下さい。

**時間：10月28日（日）11：00a.m.**

**(大学祭2日目オープニング)**

**場所：中庭ステージ**

## 『グルーポ・シンコパイソ』

今年で結成26年目を迎えた、フォルクローレ（ラテンアメリカ諸国の民族音楽）の演奏を楽しむアマチュア・グループです。リーダーの東出氏は、日本で最初のケーナ奏者で、日本のフォルクローレのパイオニアとして、アンデス音楽の楽しさを各地に広めてきました。メンバーの年齢、職業はまちまちですが、フォルクローレを愛する楽しい仲間たちです。





日頃は、主に教育や福祉の現場で演奏活動を行っています。また、フォルクローレの全国大会「コスキン・エン・ハポン」でも毎年演奏しており、NHK教育TV「歌えリコーダー」にもゲスト出演しました。

## メンバー紹介

ケーナ (ティランゴ)	東出五国
チャランゴ	藤原浩司
ケーナ・サンポーニャ	湯川洋臣
ギター	新井芳樹
サンポーニャ	金子功
ボンボ	長澤進



## 楽器の紹介

<p>ケーナ</p> 	<p>アンデスのあし笛と言われ、竹に穴を開けただけの素朴な笛。吹き方は日本の尺八と似ている。千年以上の歴史を持った楽器で、その昔人のすねの骨を使って作られたという伝説もある。</p>
<p>サンポーニャ</p> 	<p>長さの違う竹を何列か並べて作られた笛。吹き口はなく、その口を横から吹いて鳴らすと、風の音が聞こえる。</p>
<p>チャランゴ</p> 	<p>スペインのギターを真似て作られた、小型ギター（ウクレレ）。アルマジロという動物の甲で作られていたが、近年捕獲禁止になったため、木のチャランゴも多い。</p>
<p>ボンボ</p> 	<p>木の胴をくりぬいて、両側に子羊やヤギの革を張った太鼓。張ってある革の紐の張り具合で音が調節できる。一般には2本のバチで叩く。</p>

主催：平成国際大学 国際交流委員会